

2014年4月1日



2013年度活動報告書

2013年4月～2014年3月

1 相談支援活動

相談支援の拠点として、「あすからの暮らし相談室・宮古」を宮古市保久田に設置し、被災者など生活に困難を抱える方を対象に、面接、電話、出張等により相談及び支援を実施した。

相談支援の手法としては、生活に困窮している住民に対し、地域資源と連携しながら、個別的、継続的、制度横断的、伴走型、寄り添い型の生活再建支援を行った。

かねてから田野畑村、岩泉町及び山田町で実施している出張相談会を引き続き定期的に行き催した。のべ開催回数36回。相談者数77人。

2013年度の活動数は、6,614件(面接相談1,106件、電話相談1,892件、出張相談302件、関係機関との連携3,314件)、相談室訪問者1,327件、新規相談者数299人であった。2012年度と比較すると、活動数は1.4倍、相談室訪問者は1.7倍の増加となっており、活動が活性化し、多忙となっている。

緊急的な食糧支援が必要なケースが増加していることから、SAVE IWATEと連携し、必要への食糧支援を適時実施した。

2013年4月から、一般社団法人3.11震災遺児孤児文化・スポーツ支援機構と連携し、支援を必要としている遺児孤児及び同世帯に対し、支援を調整する業務を実施している。対象となる遺児孤児16人。

2013年8月から、岩手県が実施する「平成25年度いわて求職者個別支援モデル事業」を奥州商工会議所から再受託。職員を配置し、宮古圏域を対象に同事業を実施した。

2 社会的包摂推進活動

(1) 「つむぎサロン・みやこ」事業

被災者同士の交流と自立支援、相談の掘り起しにつながることを期待し、SAVE IWATEが行う復興ぞうきん事業(支援物資のタオルを被災者が仕立ててSAVE IWATEが買い上げる事業)と連携し、「つむぎサロン・みやこ」を2012年5月から毎月開催している。利用者数のべ62人。サロンが被災者の居場所になっているだけでなく、参加者自身が生活困難を訴えたり、参加者が困窮者をつなげてくれたりする効果が出ている。

(2) 物資支援事業

2011年6月からSAVE IWATEとの連携により、被災者等必要としている方を対象に生活用品などの物資を確保しているほか、2012年8月からは、当室のウェブサイト等において、一般から広く支援物資を求めている。支援の提供を受け入れた件数は40件。物資は相談室内及び専用倉庫に配備し、極度な生活困窮状態にある方へ提供している。なお、専用倉庫は2013年2月からジャパン・プラットフォームの助成により宮古市内にアパートの一室を借り上げる形で設置している。物資支援をする団体がほとんどなくなってきた現状、物資を必要としている方と支援をしたいという個人や企業をつなげる役割を継続的に担っている。

(3) あすくら友の会事業

利用者間の交流を促し、孤立を防止するための「あすくら友の会」を2013年2月から毎月実施。参加者数のべ115人。参加者が増加しており、ひきこもり気味であった参加者の居場所になっているほか、エンパワメントを引き出し、生活再建のステップアップにもよい影響を与えているほか、当室業務をボランティアとして手伝っていただくなど、社会参加のきっかけともなっている。

(4) 出前講座事業

社会的包摂理念を広く一般に伝え、事業への協力を促す目的及び内容で出前講座を開催。希望に応じ、講師を派遣している。実施回数25回。受講者2,105人。受講者からはおおむね好評を得ており、開催依頼が増加している。

(5) ボランティア事業

社会的包摂理念を広く普及させていくため、活動を手伝うボランティアを2012年8月から募集し、受け入れている。ボランティア活動実績のべ21回87人。就労困難者、社会的孤立者の社会参加、就労体験の場になっている。

(6) 社会的事業推進事業

関係機関等とともに社会的事業所の設立に向けた視察、研修、協議等を行っている。企業のCSR活動と社会的事業の推進を連携させる取り組みを進めるため、日本NPOセンターが実施するインターンシップに参加し知見を広げた。2013年6月には、「社会貢献活動で会社も地域もよくなるセミナー」を開催。参加者54人。また、県内にフードバンクを設置する事業に参画し、社会参加を促す農園運営、啓発セミナーの開催、活動報告書の作成等を行った。

(7) 「パソコン教室」事業

支援対象者に対する就労意欲の向上を図るとともに、パソコン技能を高める目的で「パソコン教室」を随時開催している。開催実績10回10人。

(8) 山田の「食べる」を楽しむ会開催事業

山田町における食の課題を解決し、可能性を伸ばす場づくりを通じて、生活困窮者の社会参加の場を広げるきっかけづくりを目途とした実行委員会形成のため、料理教室、映画会、座談会の開催を2013年7月から開催。実施回数6回240人参加。また、実行委員会事務局を受け持ち、実行委員会を運営した。

(9) 「あすくら・宮古カフェ」事業

生活困窮者が生み出されづらい社会を実現するため、いいまち、いい暮らしを創る！をテーマとした「あすくら・宮古カフェ」を2012年12月に初開催。2013年4月には、「あすくら・山田カフェ」として、山田の食の課題と可能性を解決することをテーマに実施。参加者数18人。このカフェ開催がきっかけとなり、上記(8)山田の食べるを楽しむ会事業を実施することとなった。



(10) 「あすくら学校」事業

震災後の暮らしに明るい兆しが見えない不安が地域を襲っている現状を踏まえ、住民とともに、地域でよりよく生きていくための選択肢を増やすアイデア等を学び考えるとともに、震災後の暮らしのモデルロールを構築し、あすからの暮らしに展望を持つ一助とするために 2014 年 1 月から実施。幸せの学び舎として、「学びともに生きる学級」、「聴き書き実践学級」、「分かち合いビジネス学級」を設置し、住民が参加できる基礎講座(座学と実技)を実施した。実施回数 5 回 122 人参加。

3 地域ネットワーク活動

個別の相談支援においては、必要な社会資源と適宜連携し、相談支援事業を通じて、地域のネットワークづくりを行っている。また、適時、各社会資源と連携のための協議を行った。各社会資源にはチラシ・ポスターを配布し、活動への協力を依頼した。

2015 年 4 月から市及び県が実施する「生活困窮者自立支援制度」に向けて、地域の関係者に呼びかけ、その準備のための勉強会を盛岡市及び宮古市において開催した。

地域ネットワーク構築のため参画している連絡会議等は以下のとおり。

- ・宮古市生活復興支援センター連絡協議会
- ・宮古地域支援団体連絡会議
- ・宮古地域自殺対策連絡会議
- ・障害者生活支援連絡会議権利擁護部会
- ・もりおか復興支援ネットワーク
- ・宮古地域こころサポート連絡会
- ・支援調整会議(平成 25 年度いわて求職者個別支援モデル事業に基づく)
- ・(仮称)くらし支援ネット・盛岡
- ・(仮称)くらし支援ネット・宮古
- ・(仮称)くらし支援ネット・岩手

NPO 法人いわて生活者サポートセンターの参与として、「あすからのくらし相談室・釜石」及び「これからのくらし仕事支援室」の運営に参画し、岩手県内における支援ネットワークの構築を行った。

4 その他の活動

報道機関に対して活動に係るプレス・リリースを行っている。また、視察・取材対応を通じて、活動の実情、被災者の状況などを伝えた。

2013 年 9 月から、公益社団法人三菱商事復興支援財団の助成らよりバス広告を掲出した。

各ドナーとは、助成金の申請、事業の報告のみならず、適宜連携し、情報交換、セミナー等への参加等をした。

職員の資質を高める研修には随時積極的に派遣した。



あすからのくらし相談室・宮古 活動統計

2013年4月～2014年3月

項目	件数	備考
活動数	6,614	
面接相談	1,106	
電話相談	1,892	
出張相談	302	
関係機関との連携	3,314	
相談室訪問者	1,327	
新規利用者	299	
支援対象者	205	
ハローワークとの連携	158	
就職決定	23	
社会参加	282	



【利用者アンケート結果】

あすからの暮らし相談室・宮古(あすくら・宮古)では、2013年10月～11月にかけて、あすくらを利用している方へアンケートを実施しました。その結果を以下のとおりお知らせします。

1 あすくらを利用した満足度は何点ですか

80-100点	60-80点	40-60点	20-40点	0-20点
20人(69%)	6人(20.7%)	3人(10.3%)	0人	0人

2 あすからの支援を受ける前と今では、あなたの気持ちはどのように変化しましたか

【支援を受ける前の気持ち】

- ・何も考えなくなかった。何も手に付かなかった。生きていることが辛かった。
- ・一方的思考(独断、独善)なのかと 気持ちが揺らいでいた。
- ・制限された生活で時を経て不満が蓄積されていくと感じていた。
- ・私は震災による被災者ではないので、あすくらさんに相談に行っているのか、迷っておりました。
- ・親もなく友達も少なく 相談できる人がいなかったため不安な毎日を過ごしていました。考えることに余裕がない状態でした。
- ・経済的に苦しくて、辛かった。
- ・これからどうしようかなともう夫もなくなりお金も底つきどうして生活していこうかと思っている矢先でした。やっぱりどこかで相談を受けようとおもっていた時、役場からの広報でこれくらさんを知り、電話でお願いしそれでお世話になり本当にありがとうございました。
- ・どなたか関係の方に相談に乗っていただき改善の方向を見出したい思い。
- ・とに角悩んでいました 途方に暮れてました。あの日宮古市街地を歩いて看板をみたときは海で灯台を見たようでした
- ・東日本震災のため、全財産を失い会社を継続出来ないのに、多くの借金だけが残りました。主人は病気で何も出来ず相談に乗って頂きました。
- ・うまく表現出来ないけど、何事に付けわからないことばかりでした。
- ・泣きたい気持ち。
- ・日々の生活をどうすればいいのか分らず、生きていく気力もないくらい嫌な気持ちだった。



- ・気分が落ち込んだりすることがあったり、あまり人にかまってほしくなかった。
- ・以前話を聞いて頂いた波岡さんにお会いしたいなあと思って来ました。
- ・1年半は いろいろ悩み、色々助けってもらって、心も気持ちも体も元気になって感謝してます。
- ・とにかく真っ暗。先が見えなくてつらかった。
- ・不安と心配でいっぱいだった。
- ・津波も為住宅大規模半壊。住宅だけは地震保険、義捐金等で内部修理。外は手つかずだった。
- ・不安な気持ちだった。
- ・ストレス、不安があった。当時はまだ職が決まっておらず、将来を悲観し、落ち込んでいた。
- ・不安でいっぱいでした。
- ・気持ちが不安定だった
- ・借金返済の件で、法律事務所で、あすくら相談室の存在を知り、初めは「私の事を理解してくれない」と考えていました。なぜなら借金という地獄より抜け出られない日々、返済したくても、仕事もない状態で、自殺まで考えていました。
- ・毎日の生活が大変で辛かったです。

【今の気持ち】

- ・生きていてよかった 何も出来なくても元気に生きていたい。
- ・スタッフ、専門家のアドバイスで一定の成果を得ることが出来た(進行中)今のところ生活に大きな変化はないが将来に希望を持つ事が出来る状態をつくっていただいた。
- ・あすくらさんと、職安の就職支援により、仕事に就くことが出来て感謝しております。
- ・相談することにより、自分の知らなかった事を知ることが出来たり視野が広がり前向きな気持ちになりました。
- ・助かった 相談して良かった。
- ・今はあの時お願いしてなかったらと思うとザワザワします。その時ナミオカさんという方に本当に迷惑やら色々お世話になったおかげ様で、本当にたすかりました。今は気持ちよくすごしています。
- ・おかげ様で方向性が少し見えたが唯これを一步として段階を踏んでいく努力が必要と思いました。
- ・心強いです。
- ・前向きに生きていこうと希望を持つよう心がけております。
- ・生活が安定した。
- ・ここに来ておかげで事がスムーズに運んだ。とても感謝している。
- ・うまく表現できないけどあなた様からご支援していただきうごく、うれしくて、ありがたいと思っています。
- ・心がもっとほがらかになりました。
- ・一日一日を大切にすごせるようになった。
- ・何でも話を聞いてくれてアドバイスをしてくれた、仕事をやる気にもなった。気分も落ち着いた。
- ・今は、前より気持ちが良くなり、今のところ大変よろしいです。
- ・とてもためになり、安心しました。



- ・一年半 お世話になり 迷惑かけてすみませんでした。いつも元気をもらいます。いつまでも元気で。
- ・皆さんと会って話をするようになって、毎日町にも出てこられるようになったし、気持ちが楽になりました。ありがとうございます。
- ・経験できなかったことが経験できた。
- ・相談直後は晴れやかで希望に満たされていた。
- ・少し楽になった。
- ・気持ちが明るくなり、前向きになった。悩みが減った。
- ・気持ちが楽になりました。
- ・前とくらべると、よくなったと思う。
- ・親切な指導で、本当に心が温まり、現在は仕事に就け、今日忙しい日々を送れ、本当に良かったと思っています。
- ・あすくらさんに相談してから気持ちが楽になりました。少し光が見えてきました。

3 あなたにとってあすくらがあって、良かったことはどんなことですか

- ・いつでも気軽にどうぞと心が広く温かく支援いただきました事忘れません。気持ちが軽くなりあすくら相談室がありました事で前向きに頑張れます。
- ・被災直後の混乱のなか、高度、多岐にわたるアドバイス、支援等はなかなか得ることが出来ず、被災者〇〇相談所にも度々足を運んだが「法律上無理」「そうになっている」（それ以上の回答を引き出せず）割と冷たさを感じていた。（夫婦供） 貴所はその点被災者目線に対応して戴き有難く感じております。お陰様で一步前進し、行動をおこすことが出来ました。
- ・相談する事で、適切な支援により、仕事がはやく決まり、とてもありがたく感謝しております。
- ・困った時相談ができる。話を聞いてもらえるということの安心感が得られること。
- ・経済的に助けられ、仕事も見つかった。生活も安定した。足を向けて寝られない。
- ・私にとって、生活が安定の一言です。本当に命をたすけていただきありがとうございました。世話をしてくれる人には本当に迷惑をおかけします。が、こういう人達がいてくれてこそ私のような人も元気が出てきます。長くよろしく願いいたします。
- ・何と言っても単に言い難い悩み、苦しみを受け止めてくれるところとして存在し、広く知らせて頂いたこと(広報)
- ・とっても頼りになるのです。親身に考えて下さってありがたいと思っております。
- ・難しい仕事は弁護士さんに相談するしか方法が解らなくて、あすくらさんに、お話が出来て、本当に安心致しました。
- ・風呂を付けてもらってありがとうございます。
- ・法的な手段がこちらのおかげで有効に進んだ。
- ・盛岡に離れて暮らしている娘たちのことがすごく心配でした。そのことで、あすくらさんに相談して、すごく助かり、とてもうれしく思いました。
- ・私の信念に共感して下さる人がいたこと。みなさんに出会えたこと
- ・迷ったり、悩んだりする事があると、道をきりひらいてくれた、一人で悩まなくてよくなった。



- ・どんなことも話を聞いてくれること
- ・話を聞いてもらって、良いアドバイスをしてもらえること。元気になれること。
- ・いつもいやされて心が元気になり、わがままをきいてもらってありがとうございます
- ・これから先の未来が見えるようになったし、毎日がすごく楽しいです。「一人は皆のために、皆は一人のために」な すごい相談所だと思います。毎日が変わった。
- ・楽しく話せる。
- ・妻の身体障害者手帳もらった(1級) でも利用していない(今入院中のため)
- ・電話やメールでも相談にのってもらえたこと。
- ・いろいろはなせて楽しい
- ・職場までの通勤のことで悩んでいた時期に交通の便がいい市内にアパートを親身になって探していただいて本当に助かりました、
- ・生活面、精神的に楽になった。
- ・だれかに話を聞いてほしい時あすくらがあつて、本当によかったと思った。
- ・親切な指導がなければ、夜も寝ることも笑うことも忘れていたでしょう。今、言えることは、少し先の未来を見ることが出来たということです。私の犯した罪(借金)は消えませんが、それでも 心温まる指導により、今日、仕事に全力疾走できる喜びを知りました。
- ・わたくしどもの身になって話を聞いてくれること

4 あすくらスタッフにひとことお願いします。また、その他なんでも自由にどうぞ

- ・あすからの皆様の温かいご支援 厚く御礼申し上げます。今後ともよろしく願い申し上げます。
- ・被災者の知人等を見ていると、初期的支援から今後は中期的なそれに移行しつつあると感じます。一人一人の生活に合わせ、広く浅くから狭く深くへと移行し、行政での対応はますます困難のものになると予想されます。その点初期からかかわって来た貴所の経験力量は確かなものがあり、今後益々貴重なものとなります。社会の潤滑油としてますますの発展を祈念します。
- ・仮設住宅に住む方の相談で大変お世話になり、ありがとうございました。今後ともよろしく願い致します。
- ・いつもお世話になりっぱなしですみません。でも、何かあった時、私には心強いサポートをしていただけるので大切なところです。スタッフの皆さんが 親身に話を聞いて下さるので、頑張ろうと思えます。ありがとうございます。
- ・何かあったら相談に来ますのでよろしくお願いします。体に気を付けて頑張ってください。
- ・あれからしばらくご無沙汰していますが、私はお陰様で元気になりました。ナミオカさん始めあすくらスタッフの皆さんのおかげ様です。また、何かありましたらその時はよろしくお願いします。そのためには、お体を大事に元気でよろしくおねがいたします。
- ・ご親切に対応していただきありがとうございました。相談者の個人差といいますか性格的なものの差、医師のアドバイスが要るか、法とか一般常識に反しないかはまだ先が見えません。今後ともよろしく願いいたします。
- ・係の方々のその人間性に心から感謝致します。どうか専門的な 本人への接し方をますますご指導くださるようお願いいたします。



- ・なんでもご親切に聞いて頂けて、すごい優しさを感じました。心より感謝申し上げます。波岡さま本当に有難うございました。
- ・くらしのサポーター吉田亨さん有難うございます。
- ・これからも必要な施設なので存続してほしい。
- ・盛岡にいる娘たちの事であらためてご相談したいと思っていますし、これからも、私事もふくめて、いろいろご相談したいと思っていますし、これからも私事をふくめて、いろいろご相談したいと思っています。これからもよろしくお願い致します
- ・出逢ってくれてありがとうございます。
- ・いつも話を聞いてくれてありがとうございます。これからも、よろしく願います。
- ・いつもお世話になっています。
- ・これからも、体に気をつけ、いつまでも続けて頂けるようお願い致します。
- ・体に気をつけ頑張ってください。
- ・心の底から、はげしくありがとうございます！！
- ・早くおちつきたい津波の後始末どこに頼んだらよいか
- ・生活を再建する再就職プログラム等を充実して欲しい。また、例えば、製材業では指示や腕を切断する危険があるなど職業を選択する際の注意点などもしっかりと話してほしい。今の臨時の仕事が終了した場合は、宮古市での今後も働いていけるのか不安です。建設業で働くために大型免許を取得しようか等考えています。あすからでその辺りの相談も受け付けていますか？
- ・今後もよろしく願います。
- ・これからもいろいろな支援企画を出していただきたいです。
- ・これからもよろしく願います。見捨てないでください。
- ・本当にありがとうございます。霧が晴れ、太陽の日が自分を包み込むような感じがいたします。何度ありがとうございますといっても切りがないくらい感謝しています。
- ・私どもの身になって話をきいてくれる窓口で、あったかく見守っててください。心から感謝しています。

